

休日部活動の地域移行に向けた実践研究事例集

(第1版)

～ 令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行に向けて ～



令和4年3月

山梨県教育委員会

本実践事例集の活用について

平成31年1月25日、中央教育審議会において「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」（以下「答申」という。）が取りまとめられました。

答申では、学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務の一つとして部活動を挙げ、将来的には、部活動を学校単位から地域単位の取組にし、学校以外が担うことも積極的に進めるべき、とされています。

このことから、国では、部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築することなどを改革の方向性とし、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の両立を実現するため、令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行に係る実践研究事業の全国展開を本年度から始めたところです。

本県においては、南アルプス市立櫛形中学校・八田中学校の関係者の御理解と御協力を得る中、指導者の確保や教師の兼職兼業による指導への関わり方など課題を洗い出すことなどを目的に実践研究を進めるとともに、この取り組みから得られた成果等を取りまとめた実践事例集を作成しました。

本実践事例集が各中学校等に広く周知され、令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行に向けた参考になることを期待します。

目 次

1	櫛形 基礎情報	1
2	櫛形 剣道	2 ~ 6
3	櫛形 卓球	7 ~ 11
4	櫛形 弓道	12 ~ 16
5	櫛形 バスケットボール	17 ~ 21
6	櫛形 ソフトボール	22 ~ 26
7	八田 基礎情報	27
8	八田 陸上	28 ~ 32
9	八田 ソフトテニス	33 ~ 37
10	八田 野球	38 ~ 42
11	まとめ アンケート結果を踏まえた課題・対応策	43 ~ 48
12	【参考】「令和5年からの休日部活動の地域移行に伴う実態調査」の調査結果山梨県小中学校体育連盟	49 ~ 53

橿形中学校の実践研究

○学校の基礎情報

学校名：南アルプス市立橿形中学校
住 所：南アルプス市小笠原 9 8 5
エリアの特徴：橿形中グラウンド・橿形中体育館・橿形中武道館
日世南アルプススタジアム・橿形総合体育館・橿形テニスコート
教員数：55名
生徒数：547名
部活動数：運動部(14)文化部(5)特設部(3)

○指導者の情報

種 目：剣道
指導者名：河野 亮
競技歴：12年
指導歴：5年
資 格：剣道三段

種 目：卓球
指導者名：甘利 肇
競技歴：32年
指導歴：5年
資 格：

種 目：弓道
指導者名：依田幸男
競技歴：2年
指導歴：18年
資 格：中学校教諭一種(技術・社会)中学校教諭二種(英語)
全日本弓道連盟初段

種 目：バスケットボール
指導者名：河野 佑太郎
競技歴：13年
指導歴：1年
資 格：小学校教諭一種 中学校教諭一種(国語) 高等学校教諭一種(国語)

種 目：ソフトボール
指導者名：中嶋一進
競技歴：13年(野球)
指導歴：3年(野球)1年(ソフトボール)
資 格：中学校教諭一種(保健体育)高等学校教諭一種(保健体育)

剣道部

○概要

種 目：剣道
参加人数：16名
指導者名：河野 亮
学校顧問名：大塚 健太 望月 清一
部活動の頻度：平日4日 休日1日
部費の負担：年間30,000円

【活動目標】

- ・剣道の理念（剣の理法の修練による人間形成の道である）を重んじ、心身ともに鍛えていくだけでなく、あくまで人間形成のための活動である。
- ・令和三年度目標「交剣知愛～剣を交えて愛しむを知る～」のもと、この人とまた剣を交えたいと思ってもらえるような人になる。
- ・相手を敬うだけでなく、自分自身も大切にできる。
- ・物事を最後まで取り組むことができる。

○活動内容

- 1 主な活動時間
土曜日 8時30分練習開始 11時終了
- 2 活動場所
櫛形中学校 武道館 剣道場
- 3 年間指導回数
28回
- 4 指導の工夫
 - ・剣道の理念のもと、稽古そのものを人間形成の道ととらえ、互いに尊重しあうよう活動を行う。
 - ・気剣体の中でも、“気”に重点を置き、剣道における発声の大切さから指導を行う。
 - ・説明する際には必ず指導者自らも取り組むことで、生徒たちの模範となっている。
 - ・地稽古（立ち合いの稽古）の際には、指導者も相手をし、それぞれの生徒に合わせたレベルで生徒の実力を引き出すように指導する。
 - ・指導者としての立場だけでなく、“父”としての目線からも生徒の指導にあたる。

5 学校との連携

- ・学校顧問との連携をし、生徒の個性や性格を把握し、それぞれの生徒に合わせた指導を行う。
- ・剣道経験のある学校顧問（大塚）不在の際は、該当顧問と連絡をし、練習メニューを決める。

6 成果

- ・学校顧問とは違った観点から指導することにより、生徒の意欲的な活動につながった。
- ・指導者は昨年度PTA会長であったこともあり、学校の教育目標や、取り組み方に関して理解があり、学校と歩調を合わせて指導を行った。
- ・指導者としてだけでなく、父としても生徒を指導していたことにより、生徒の人間的な成長にも目を向け、学校顧問とともに指導にあたることができた。

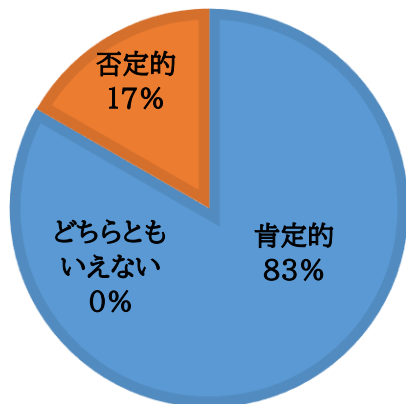
7 課題

- ・教育内大会の引率においては、拘束時間が長いこともあり、ボランティアのような形になっている。
- ・“各校1人まで”の引率となった場合、学校顧問と指導者とが行くことができないため、どちらかが会場を出た際に、もう一人が入るような形をとらざるを得なかった。



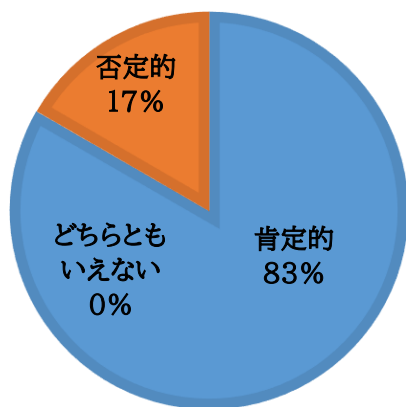
【生徒】(n=5)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



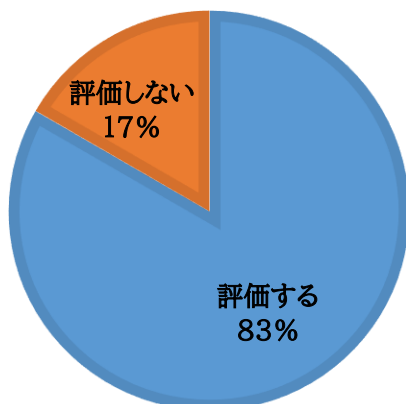
- 顧問の先生が全体に教えているときに、人それぞれ細かい所を教えてくれたことで一つの事に対してより理解が深まった。
- 他の先生にも教わることで違う感覚で学ぶことができよかったです。
- 自分の課題点などを動きを加えて説明するのが分かりやすいです。
- 個人的には、人見知りがあるのでやっぱり平日は会わずに休日だけの先生となるとコミュニケーションが少し苦手なところがある。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- 同じ部内の人以外とも活動を共にするなら多くの考えややり方などこれまでとは違った沢山の経験ができるだろうし、地域の指導者の方からも新しい事を教わったり、違った教わり方があると思う。
- 人が多くなることでいろいろと考え合えるからいいと思います。
- ▼先生という地位が安定していないため統率力が少し低い場合他校の生徒とトラブルがあるかもしれない。

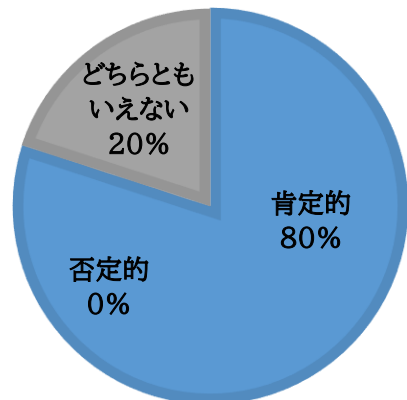
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 普段からやらない人とでき、顧問の先生と違った視点で教えてもらえるから評価します。
- 細かい所まで教えてもらいやすい所が良かった。
- いつもとは違う教え方で教えてもらえるので、教えてもらってない所も、教えてもらえるので良かったと思います。
- 楽しかった。
- ▼どちらともいえないため

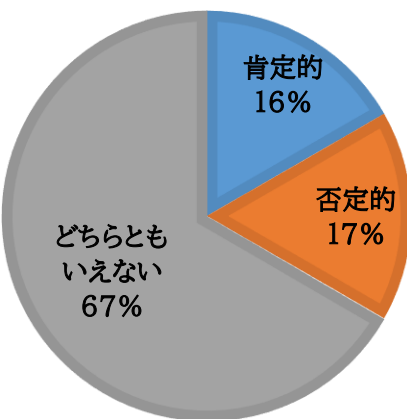
【保護者】(n=6)

1. お子様の様子はどうでしたか



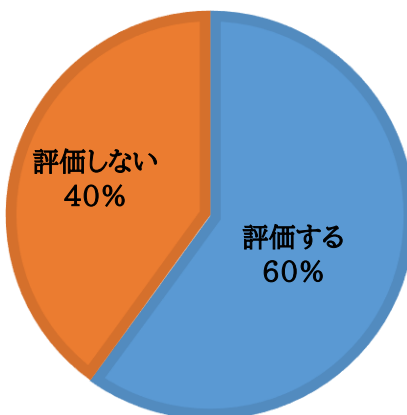
- 子どもにとっては学校の先生以外の方に指導をして頂く機会は少ないので有り難い事だと感じています。
- 新鮮さがあったように感じる。普段と違う視点での指導や意見が聞けたりで自分の剣道での長所や短所が分かってきてる。
- ◇子どもの人見知りのあることで休日のみの指導となるとコミュニケーションが少ない中での活動で続けていけるのかという心配があります。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 先生方の負担軽減を考えると民間委託の導入も必要ではないかと思えます。
- 参加料や保険料がかかるのは当たり前のことだと思う。
- 地域部活動になり、中学の中だけの生活ではなく、社会とのつながりがもてるのは良いと思う。
- 土日の部活はしなくてよい
- ◇学校の部活動としてやる事で仲間意識が高まったりするので移行せず別の方が良いと思えます。
- ◇外部の指導者に指導を受けることは、たくさんのメリットもあると思えますが逆に子どもたちに教えるという技術を持ち合わせとしない方がちゃんと指導出来るのか・・・という不安はあります。指導者側のスキル向上もお願いしたいです。(体罰や暴言なども)
- ◇できれば国や自治体からの助成があれば保護者の負担軽減にもなるのかなど・・・部活によっては物品をそろえるまでにお金がかかる上に経費負担となることでその部活を諦めないといけないということがないようにしてほしいです。
- ◇平日は先生、休日は外部指導者となる事で指導が統一できるのか心配です。
- ◇休日に自己やケガがあった場の対応はどうなるのでしょうか・・・

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 学校の先生以外の人達とふれあうことは良いことだと思いました。
- 先生方の負担軽減のためには必要。
- ▼今はどちらとも言えない

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

- ・学校の部活動の延長線に外部の指導者も参加している感じなので特に変わった様子はないと思う。
- ・地域への移行とは完全になっていないので微妙なラインにはなるが生徒は教師＋指導者の状況で楽しく取り組めてはいる

2. 指導者との関わりはどうでしたか

- ・昨年度PTA会長かつ昨年度から何度か稽古に来て頂いている人なのでとても頼りになり、学校への理解も強い。人柄もとても穏やかで全員の父のような存在である。

3. 休日部活動の成果と課題について

【成果】

- ・異なる視点で生徒を見てくれているので良い。
- ・教員と近い目線で育てようとしてくれているため目が増える。

【課題】

- ・今後の休日の大会はどうなるのか。引率など完全に任せられるのか。
- ・教育的立場で生徒を見てくれている人であれば良いがそうでない人が指導者になってしまうことへの不安(今はそんなことはない)

4. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・あくまで部活動は教育活動の一環なのでその理解のある人物が指導者になるのであれば評価するが、競技のみの指導では評価出来ない。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】

- ・日々の活動と継続した活動により、一人一人の目標とした技能の習得につながった。
- ・個人種目であるが常に友達のことを考えさせ、取り組ませたことによって周りにも目を向けられるようになった。

2. 運営面や学校との連携について

- ・人数が少ないので一人でもできるがやはり学校の顧問の先生はいてもらいたい。
- ・何かあった等(ケガ、事故)は一人では不安。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・社会体育との違いが分からない。
- ・今の体制では無理があるため。

卓球部

○概要

種 目：卓球
参加人数：12人
指導者名：甘利 肇
学校顧問名：佐久間 和之
部活動の頻度：平日4日 休日1日
部費の負担：個人負担はなし

【活動目標】

- ・卓球の楽しさを知り、公正さ、規律を尊ぶ態度や克己心を培い、県大会出場を目指す。
- ・卓球部の活動を通して健全な心と体を兼ね備えた生徒の育成に努める。
- ・競技力の前にまず人間力を高められるよう、日々の活動の中で指導していく。

○活動内容

- 1 主な活動時間
土日 8:30～11:30 または 13:00～16:00
- 2 活動場所
橿形中学校体育館
- 3 年間指導回数
45回
- 4 指導の工夫
 - ・それぞれ練習で意識することを言葉と動作で伝え、意識させる。
 - ・生徒たちの練習パートナーになり、質の高い練習になるよう心掛ける。
- 5 学校との連携
 - ・練習前に大まかな練習内容を話し合っ確認しておく。
 - ・練習中も顧問と話し合っ臨機応変にメニューを更新していく。

6 成果

- ・生徒たちと直接指導・練習することにより、基本的技術の向上が見られた。
- ・技術の向上により、大会での成果が出てきた。

7 課題

- ・基本的技術の習得に時間がかかってしまったので、短時間で生徒たちがもっと楽しく意欲的に集中して練習できるメニューや環境の工夫が必要だった。

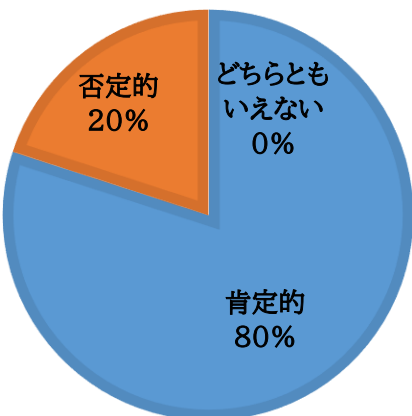
8 今後の方向性

- ・大会の在り方や大会運営の方向性が定まっていないので、現状のままで良いのではないかと思う。



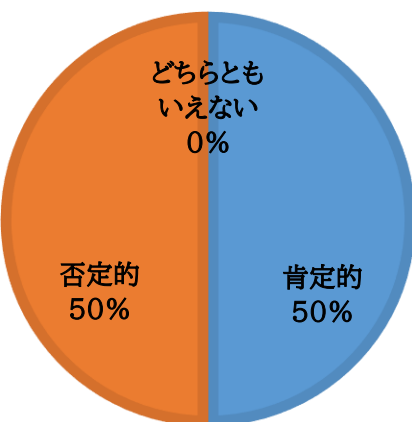
【生徒】(n=4)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



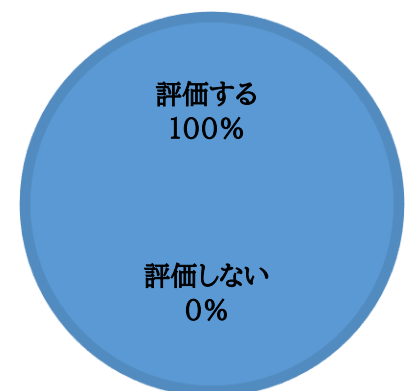
- 普段とは違い、普段やれない練習をした。
- いろいろな技を教えてもらったり大会で勝つためにラケットを貸してもらえたりいろんな事をしてもらえたので良かった。
- 出来なかった技術が身に付いた。
- 休日に練習に来ている人は、少しずつ気持ちも変わった。
- 休日の練習は、平日の練習と比べて来ている人が少ない。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- いろいろな卓球をしている人とかかかわって勉強できると期待しています。
- 先生がいなくなると、注意する人が少なくなり、部活動へ参加する人も少なくなると思う。
- 部活が土日だけ3時間以上とかになるなら少しやだなと思う。

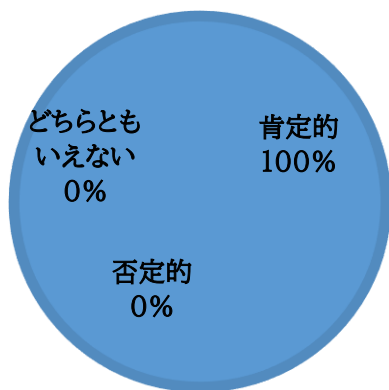
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 特別指導者がくるのは悪くないと思うから。
- 学校の先生以外の指導者の教え方が勉強になるから。
- 質の高い練習ができた。
- 練習のメニューを教えてくれたこと。

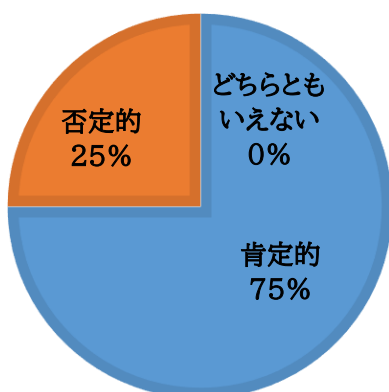
【保護者】(n=4)

1. お子様の様子はどうでしたか



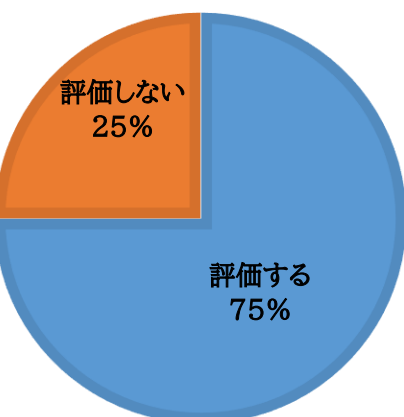
- 技術的な指導を受け技術が上がった。
- 個人戦・団体戦など結果が出てきた。
- 教えられた事を練習している。
- 先生以外の指導者の方の指導はいつも「楽しい、分かりやすい」などを耳にします。
- 私は本当に有り難いと思います。
- 違う視点からの指導で刺激を受けているように思います。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 現時点で地域のスポ少に入団しているので、今後地域部活動へ移行しても問題ない。
- 子どものやりたい事に対しての参加料などの負担はしかたのないことだと思います。
- 適切な金額なら必要ならば負担することは仕方ないと思います。
- 指導者は中学生に指導するのに適した方をお願いしたいと思います。
- 地域部活動となると、保護者の負担が大きくなり、また、一部の保護者も迷惑がかかるような気がします。部活動は学校の活動であると思うところもあります。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 顧問の先生の負担が少しでも減れば良いと思う。
- 学校の先生以外の指導も本人の勉強になると思います。
- 試してみないと分からないこともあると思うので。
- スポ少とは違い学校活動と考えます。

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

・専門的な知識や技術を直接教わることができ、前向きに取り組む姿が多く見られました。

2. 指導者との関わりはどうでしたか

・昨年度からもボランティア的に指導に来てくださっていた方だったので不都合は感じませんでした。男子の部員が少ない中で欠席する部員もあり、せっかく来ていただいたのに人数が少ない日は申し訳なく思いました。

3. 休日部活動の成果と課題について

【成果】
・参加して教えてもらっている生徒にとっては様々な面でプラスになったのが成果だと思います。部への参加が保護者への対応については今まで通り顧問がやっていくことになると思うが、いずれはそこもお願いすることになっていくのか、そこまでは申し訳なく思います。

4. 今回体験した休日の地域部活動について

・私はたまたま中学・高校時代に卓球部に入っていたためある程度の指導はできるが、学校によっては専門外の顧問を務めることもあり、専門の方が来てくれることは大変有り難いと思います。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】
・成果は、基本的な技術が少しずつ習得でき個人戦、団体戦と結果が出てきた。
【課題】
・課題は、部活動への出席率に差が出てしまい技術に差が出てしまっているので、部活動をもっと楽しく集中して練習出来る環境を作りたい。

2. 運営面や学校との連携について

・今は、顧問の先生が運営、生徒・保護者への対応を全て行ってくれているので、部活動の技術的な指導を集中して出来ていますが、生徒・保護者の対応となると不安があります。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

・今後、休日地域活動への移行で、子ども達の技術の向上と顧問の先生の負担が少し減ると思うので評価します。

弓道部

○概要

種 目：弓道
参加人数：30名
指導者名：依田幸男
学校顧問名：三井敏正、高橋章子
部活動の頻度：平日4日（月曜日オフ）、土曜日3時間
部費の負担：

【活動目標】

- ・弓道への理解を深め、生涯にわたり弓道に親しもうという姿勢を育てる。
- ・関東、全国等、上位大会への出場を目指す。

○活動内容

- 1 主な活動時間
土曜日 8：00開始 11：00終了
- 2 活動場所
楡形中学校弓道場
- 3 年間指導回数
35回
- 4 指導の工夫
 - ・弓道は殆どの生徒が初めての経験なので、基本的な技術の習得を目指す。
 - ・入門期なので、正しい技術の習得ができるよう指導する。
 - ・「射法八節」という基本形から生徒は逸脱した射形になりがちなので、そうならないような実技指導をする。
 - ・高等学校へ進学しても続ける生徒が増えるように、弓道の楽しさを実感できるような指導をする。
- 5 学校との連携
 - ・前年度までの4年間、当該校の職員であったため、顧問団とは容易に連携することができた。
 - ・練習日程など、顧問と密に連絡を取り合うことができた。
- 6 成果
 - ・今年度の1年生も、ある程度正しい射形で的中もできるようになった。

7 課題

- ・的中できるようになると、基本形が崩れ易くなるので、継続した実技指導が大切である。

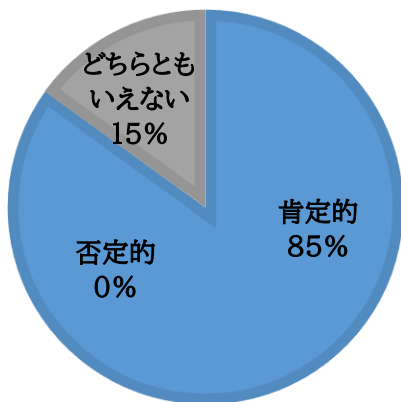
8 今後の方向性

- ・地域部活動で本校以外の生徒も弓道ができる機会ができることは、喜ばしいことである。ただ、1人の指導者で実現するのは困難であると思われる。



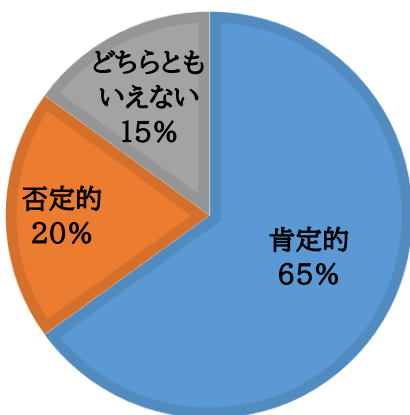
【生徒】(n=20)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



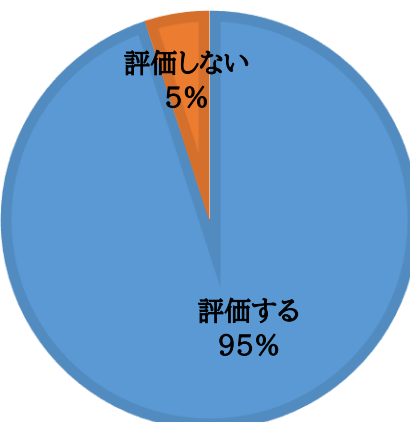
- 経験者の専門的な話を聞き、上達につなげることが出来た。
- 知識のある方から指導してもらったことから、自分の課題点を改善する事ができ良かった。
- 自分のダメな点を改善点まで言ってくれたり自分の道具を直してくれたりして良かった。弓道は難しいから詳しく教えてくれて良かった。
- ◇指導して頂く時間が土曜練や休日練のみに限られたので少し不安に感じた。
- ◇細かい所まで指摘してくれて良いと思うけど、いつも見てる人が接しやすく違う指導者だと教えてもらう以前に話しかけづらいという点がある。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- 地域の人とも関わったり、他校の生徒と試合形式などで行うことにより、本番に近い練習になるから良いと思う。
- 地域の指導者、例えば南アルプス市の弓道部の人達に指導してもらえればより良い技術の向上が望めると思う
- 周りの射形を見られるのは良いと思う。
- 学校に守られていた感じがあったからかなり安心したけれど地域となると知らない人が多く来ることが不安。
- 生徒同士のいじめ、けんか、陰口が心配。
- ◇顧問の先生ではないため時間などが曖昧になりそう。
- ◇人数が増えることにより、指導者の目が全員にしっかりと行き届くのか不安。

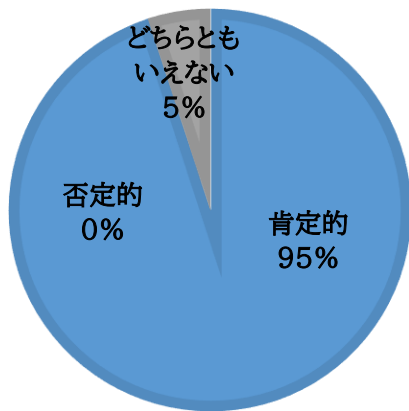
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 専門的なことを詳しく教えてもらったから。
- 自分の改善点を教えてくれて、どんどん上手になっていけたから。
- 弓道は難しいスポーツなので専門的な指導者がいてありがたい。
- もっと地域の指導出来る方に教えてもらいたい。
- 客観的な意見がもらったから。
- 人とのつながりを感じられるから。
- なんとなく。

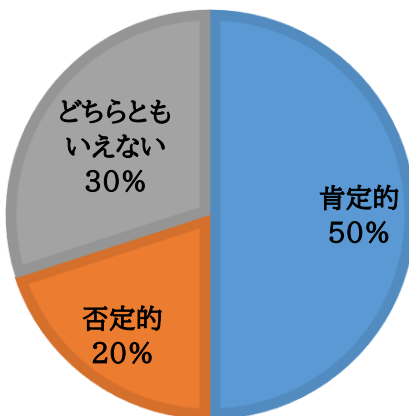
【保護者】(n=20)

1. お子様の様子はどうでしたか



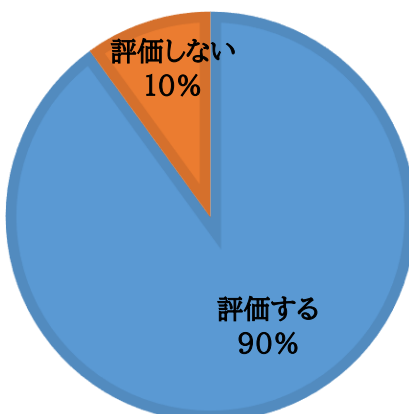
- 知識のある方に指導していただけるのであれば子どもたちの可能性を伸ばしていけると思いますし、先生方の休日出勤の負担を減らせるという意味でも良いと考えます。
- 優しく丁寧に教えて下さり子どもも良かったと申しておりました。
- 年配のOBの指導では顧問にはない細かい指導がありとても分かりやすかったとのことでした。
- ◇指導してもらった時間が減ったことで技術面が不安がある。(学校の顧問の先生が居るので大丈夫だと思いますが)

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- いろんな大人と関わってコミュニケーション取れる機会があるがたいと考えます。人生において中学時代の部活動はたくさんの感情を経験できる貴重な場だと思っておりますので、しっかりとした信頼関係を築けて、熱心に指導して頂けることを願います。
- 本人がやりたい部活動であればどんな形になってもやっていくと思います。開始終了時間など安全に関する連絡が密であれば大丈夫でないでしょうか。
- 活動場所が遠くなるのは困る。
- 受益者負担となるのはどうかと思う。また、負担がどの程度になるか、活動の時間、場所等トータルで考え、部活を選ばなくてはならない。
- ◇いつもと違う指導者からの指導はいいことだと思うが、色々な面で負担が増えるのならば学校部活動のままでいいのでは。
- ◇学校での部活動は技術の指導だけでなく教育の一環でもあり、保護者としても安心が出来る面があります。地域部活動へと移行する際には教育的要素はなるべく残して頂きたい。
- ◇地域部活動は昨今の働き方改革等を踏まえると、良いとは思いますが生徒同士のトラブルや支障を来した場合の対処がどうか等心配です。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 外部コーチに指導していただくことや地域の弓道部の方と弓を引いたり指導していただくことは子どもたちも勉強になると思います。今回は外部コーチという事でしたが良かったと思います。弓道は特種な競技なのでそういう手段も良いのではないかと思います。
- メリット、デメリットはあるかと思いますが、子どもたちにとっての最善の方法で部活を行って欲しいと思います。
- これからも地域部活動を通じて人々とつながりを持ち、社会との関わりを続けてほしいです。
- 平日の部活動だけで十分だと思っている。
- 部活動なら参加するが、自ら習い事を習いに行くのか?と考えるとなかなか難しいのでは。

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

・通常の部活動と同じ感覚で取り組んでいるように感じる。(専門とする指導者が居てくれるかどうかの違い程度のもの)

2. 指導者との関わりはどうでしたか

・学校での計画に合わせて頂いており大会等にも参加してもらい感謝するのみです。

3. 休日部活動の成果と課題について

・学校の部活動を基盤としているので、地域移行という看板の掛け替えにとどまりかねないのではないかと危惧する。

4. 今回体験した休日の地域部活動について

・地域移行するのならばドラスティックに学校との関係を切るぐらいの意識を持たないと変わらないのではないかと。また、地域移行した場合の事故等に関する責任の所在等考慮しないとなり手(指導者)も確保できないのではないかと思う。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

- 【成果】
- ・学校部活動顧問との連携がよくでき、弓道経験のない先生も実技指導のポイントが押さえられるようになったと思います。
- 【課題】
- ・特にありません。

2. 運営面や学校との連携について

・弓と矢を使う弓道は、そもそも危険が伴う競技です。
・コロナ禍にあり、生徒への「健康チェックカード」の回収と点検及び施設の消毒作業等、作業内容が増えています。自分の経験から学校部活動顧問であれば生徒の情報も耳に入ります。地域部活動では、様々な学校からの参加を想定しているようなので、生徒理解という面で厳しいと思われます。安全第一を考えた時、地域部活動を1人で指導することは困難であると考えます。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

・生徒の理解面での厳しさや、1人での指導の困難な点から評価出来ない。

女子バスケットボール部

○概要

種 目：女子バスケットボール
参加人数：5名
指導者名：河野 佑太郎
学校顧問名：竹内太郎
部活動の頻度：平日4日, 休日1日
部費の負担：

【活動目標】

- ・チームの一員としての自覚をもつ。
- ・一人ひとりが仲間とチームのために精一杯練習に取り組む。
- ・チームで協力して試合に臨む。

○活動目標

- 1 主な活動時間
土曜日・日曜日 8時00分練習開始 11時終了
- 2 活動場所
楡形中学校体育館
- 3 年間指導回数
37回
- 4 指導の工夫
 - ・生徒の自主性を重んじる観点から, 練習内容は自分達で考えさせるようにしている。また, 生徒の考えや一人ひとりのプレースタイルを尊重するよう心がけている。
 - ・練習をする中で, 改善点があれば, 指導・助言をする。
 - ・指導者が実際にプレーし、効率的な動きや見本となる動きと自分の動きを比較しながら技能の理解やイメージを深めさせる。

5 学校との連携

- ・顧問の先生方と細かく情報を共有し、平日の活動の様子や大会の結果などを把握するようにしている。特に、生徒の心身の健康状態は、丁寧に確認することを心がけている。

6 課題

- ・多くても、週に一度しか生徒と関わるできないため、生徒との信頼関係を築くことが難しい。
- ・普段の練習の様子を直接見ることができないため、継続的に技術面の変化を見取ることが難しい。

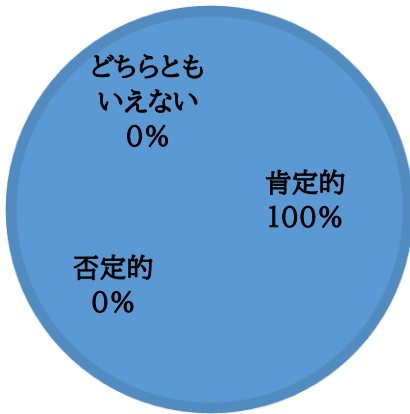
7 今後の方向性

- ・今後も、顧問の先生方と連携を密に取りながら、生徒の指導・助言を行っていく。
- ・技術の習得は、重要なことだと思うが、それが原因で生徒同士の関係が悪化したり、心に傷を負ったりすることがあってはいけないと思う。互いを尊重し、笑顔でバスケットボールをすることができるチームづくりを念頭に、指導を行っていきたい。



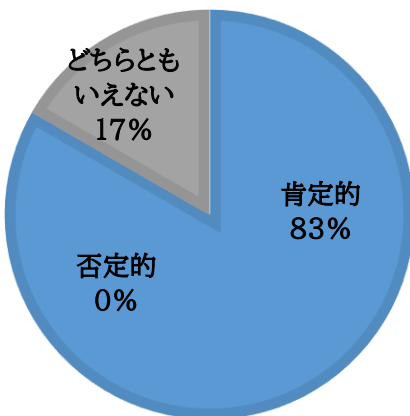
【生徒】(n=6)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



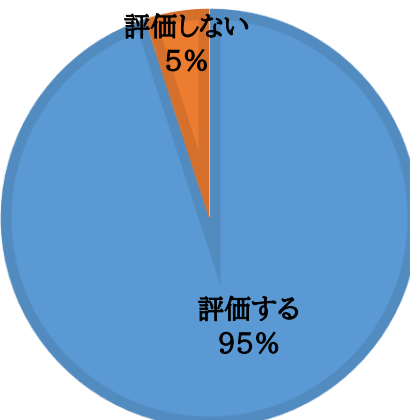
- 自分のダメだったところや出来ていない部分を教えてくれるので良かった。
- 専門的な所を教えてもらえた。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- いろいろな人と交流できるので良いと思う。
- 専門的な指導を受けられるから。
- ◇土日だけの練習になることの不安。

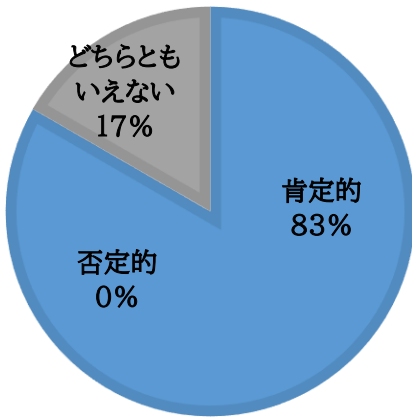
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 分からないところや課題に対して教えてもらえたから。
- いろいろな人に指導してもらえたから。
- ▼もっと指導してもらいたかった。

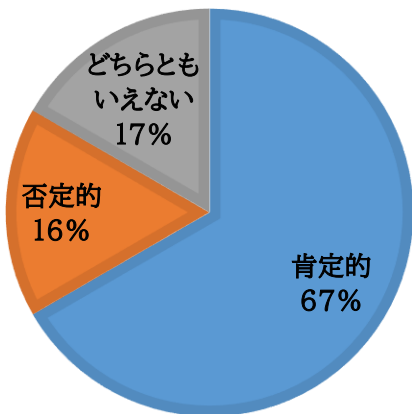
【保護者】(n=6)

1. お子様の様子はどうでしたか



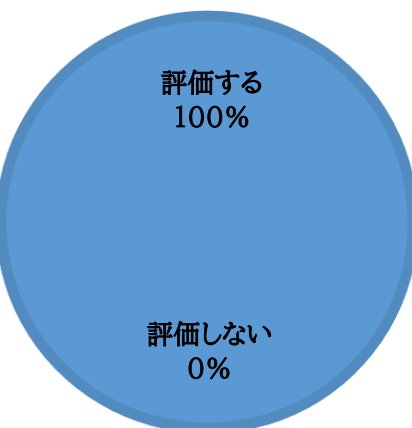
- 普段とは違う感じででき、ちゃんとにできていないところを教えてもらえたりするのは良いと思う。
- いつもと変わらず活動出来ていたようです。
- ◇学校の先生以外の指導者から指導を受けたいことを知りませんでした。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 専門の指導者に指導してもらえることは良いと思います。
- 他校の生徒との交流が出来るのは良い事だと思います。
- 参加料等がどの位かかるのか
- ◇まだ分からないことが多い。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 専門的な指導者に指導してもらえることは良いと思う。
- 今までの部活動と変わらず出来ていたから。

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

- ・練習内容を相談したり教えてもらったりする姿が見られました。
- ・指導員の方も生徒たちに練習や休憩中にいろいろ話しかけて、コミュニケーションをとろうとしてくださっていて、3年生を中心に生徒たちも話をしていました。

2. 指導者との関わりはどうでしたか

- ・土日の練習で、可能なときをお願いをしていたので、特にありません。

3. 休日部活動の成果と課題について

- ・完全に部活動を学校の活動と切り離して地域の活動として行わない限り、顧問が関わらないわけにはいかないと思います。そのため教員の負担は変わらないと思います。人間関係や各種大会、ケガ・事故など、「知らなかった」では済まされない部分や、教員が運営に携わっているものなど多々あります。学校の「部活動」と地域の「部活動」を両立していくには、その点を解決していく必要があると同時に可能なのか疑問に思っています。
- ・世間はまだ周知されていない部分が多い

4. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・地域移行するのならばドラスティックに学校との関係を切るぐらいの・子どもたちが様々な人に関わっていただけることは良いと思います。
- ・多くの目で子どもを見ることができるようなのはよいと思う。意識を持たないと変わらないのではないかな。また、地域移行した場合の事故等に関する責任の所在等考慮しないとなり手(指導者)も確保できないのではないかなと思う。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

- 【成果】
- ・主として携わっている先生方とは違った視点で指導・助言を行うことは、生徒にとって、自分たちを新たな視点で見るときっかけになっていると感じています。

- 【課題】
- ・課題(悩み)としては、週末の1日のみということで、生徒との信頼・関係づくりが難しいと感じています。

2. 運営面や学校との連携について

- ・現在は、部活動を自分一人が見るという状況はないため、安全面の心配はない。しかし、自分一人のみが見ることになることもあるかもしれないため万が一の対応の仕方については、先生方と確認をしておきたいです。
- ・試合の結果や、平日の部活動の様子等を先生方が逐一教えて下さるので、とても助かっています。
- ・生徒との連携については、信頼関係を築いていくことの難しさを感じています。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・何よりも、この制度がさらに運用されるようになれば、先生方の負担が大きく解消されると思います。さらに、地域との連携という点でも非常に有効な取り組みだと思います。最後に、これは個人の感想ですが、地域の子どものための教育活動に少しでも貢献できていることに誇りと喜びを感じています。

女子ソフトボール部

○概要

種 目：女子ソフトボール
参加人数：16名
指導者名：中嶋 一進(兼職兼業)
学校顧問名：川崎 幸司
部活動の頻度：平日4日、休日1日(教育内大会前は2日)
部費の負担：年間18,000円

【活動目標】

- ・ソフトボールを通じ、心身ともに健康で強い人間になってほしい。
- ・ソフトボールを通じ、仲間を大切にして相手を思いやる心を持ってほしい。
- ・ソフトボールを通じ、目標に向かい頑張ることのできる人間になってほしい。

○活動内容

1 主な活動時間
土曜日 8時00分練習開始 11時終了

2 活動場所
橿形中学校グラウンド

3 年間指導回数
45回

4 指導の工夫

- ・ソフトボール部の選手である前に橿形中学校の生徒であることをしっかり理解させ、学級活動や授業、部活動を全て頑張るよう指導する。
- ・わからなかった際に途中練習を止め、何回も同じプレーを繰り返し行い、一つ一つ習得できるよう指導を行う。
- ・指導者が実際にプレーし、効率的な動きや見本となる動きと自分の動きを比較しながら技能の理解やイメージを深めさせる。
- ・次に起こることをイメージし、仲間に伝えていけるよう、声の大切さを理解できるよう指導を行う。
- ・チームのために個人スキルアップへの意欲が高まるように、意識を高めていける集団作りをしていく。



5 学校との連携

- ・学校職員としての活動の為、本来の部活動と同様の活動ができた。
- ・他の顧問とも連携がとれ、練習場所等の確保がスムーズにできた。
- ・兼職兼業の為、学校の方針や指導方法、部活動の目的を理解し、活動することができた。

6 成果

- ・学校職員として平日も並行して指導ができていたので、顧問として部活指導だけでなく、学習指導や生活指導ができた。生徒は楨形中の生徒として学習や学校生活、行事等をしっかり取り組み、人間力を高めることができた。部活動にも懸命に取り組む姿につながり、部活動を良い雰囲気で行うことができた。
- ・学校職員として平日も並行して指導ができていたので、平日も休日も専門的な指導やチーム戦術練習等の指導ができた。
- ・学校職員として平日も並行して指導ができていたので、毎日コミュニケーションをとり生徒との信頼関係を築くことができたので、指導が入りやすいと感じた。また生徒の人間関係等の個人の悩みやコンディション不良に素早く気づき、生徒の心身を整えた上で指導ができた。

7 課題

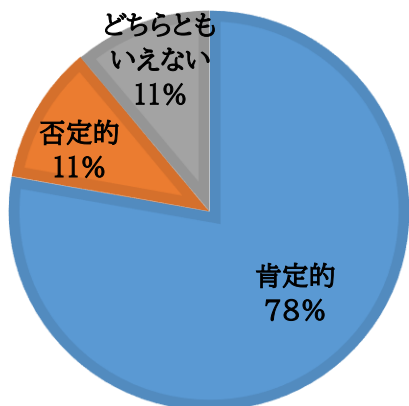
- ・休日の練習時間が3時間と限られているので、大会シーズンは活動量の確保が大変だった。
- ・教育内大会の打ち合わせ会議等、顧問への負担が多くなってしまった。
- ・教育内大会の引率や運営が拘束時間や日数を含め、ボランティアの様な形になっている。
- ・関東大会への引率が自費での活動になった。県内遠征や県外遠征も同様。

8 今後の方向性

- ・教育内大会の在り方や大会運営方法の整理をしていかないと方向性がわからないので、現状のままで良いのではないかと思う。
- ・土日の活動場所や活動費をどのようにしていくのか。
- ・外部指導者が入り専門的な指導を求める保護者もいるが、顧問の先生として学校教育活動の中で人としての育成や成長を求める保護者も多いと感じている。
- ・部活動として生徒や保護者から何を求められているのかを考え、ニーズに合わせた組織づくりや活動が重要だと思う。
- ・地域移行することで高い目標の中で活動する組織も生まれると思う。その際に誰もが気軽に運動を楽しめるような組織を確立させることも必要だと思う。組織の雰囲気や金銭面も含めて。

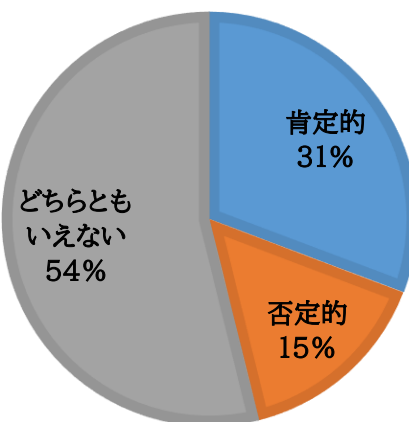
【生徒】(n=10)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



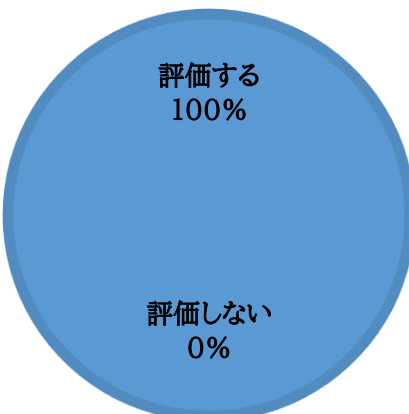
- 学校の先生が見てくれることで、ソフトで気になったこと、知りいことをすぐに聞ける。(土日だけだと1週間待たないといけないから)
- 自分たちの良いところ、悪いところがわかっているから自分も教えてくれる事がわかりやすい。
- 平日の部活で見えた課題を休日に確認して改善ができる。毎日一緒だからコミュニケーションがとれるし、一人一人の特徴を知ってくれているからあった練習ができる。
- 同じ人から指導してもらうから他の人の技術を吸収できない。
- ◇先生によってメニューが変わる。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- 大人数とプレーすることで学んだり教えたりできる。
- 人が多いといろんな人に指導してもらえる。
- 違う中学校の人と仲良くなれる。
- 学校対抗での大会を目標に頑張っている部活動の伝統をなくすのは良くない。
- 部活動という本来の目的をなくすのは違うと思う。
- ◇自分のチームだけで練習する事が減るから試合が出来るか不安。
- ◇慣れた人じゃないと人との交流が不安。
- ◇違う中学校と一緒にやることで「自分がついていけないんじゃないか」「皆とうまく混じれないんじゃないか」などがあってとても怖い。

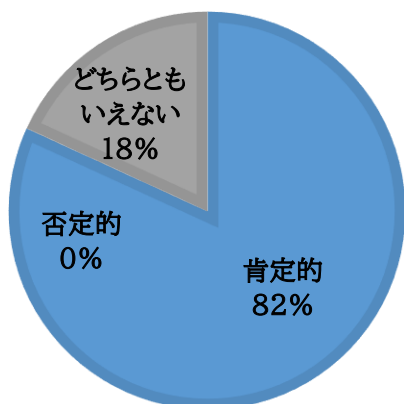
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 自分がどんな選手なのか分かっているから、地域の人が見るより経験者である先生が見た方が良かったから。
- いつも一緒にいる人だから。
- いつもと練習メニューが変わらず普通にできた。
- 一つの中学校のチームで土日も部活をしたいから。

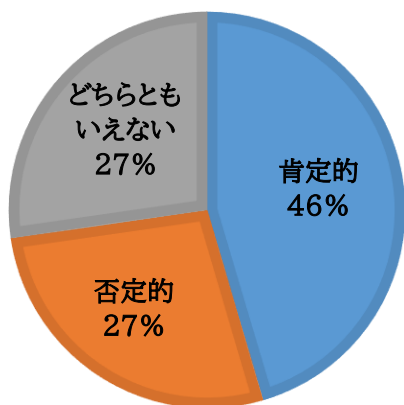
【保護者】(n=10)

1. お子様の様子はどうでしたか



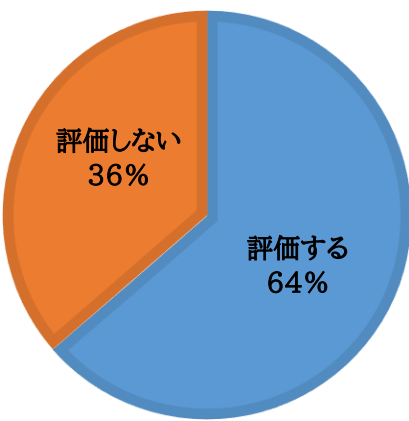
- 娘はとても楽しく活動できたようです。外部の指導者の指導はあっても良いと考えます。技術の向上を考えると外部指導者の力を借りても良いと思う。
- 先生方の指導とは違い新鮮でためになった。ソフトボール指導者の指導は経験を活かした実践的で良いと思う。
- 一生懸命出来て満足の様子。
- ◇本来のこの事業の目的を考えると複雑な思いです。外部指導者をつけるとした場合、先生の考え方、目標、指導方針など同じ考えを持って頂く事を希望します。
- ◇学校での様子も踏まえた上での部活動だと思っていたので学校での子どもたちの関係も知って欲しいので、学校の教員が外部指導者として部活動を見て欲しいです。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 技術面やメンタル面において向上できることを期待します。
- 専門分野での指導者の指導は部活動のレベルアップには良いと思う。
- 経費負担については理解できない。学校部活動から地域部活動に移行することまですることなのか。
- これまで以上の経費が掛かってくる場合は、部活動の継続を考え直す必要もあると考えます。また、地域部活動となると楡形中だけでなく他校での活動も多くなるとは思われますがそのための送迎が必要になり、対応できる家庭は良いのですが諸事情により対応できない家庭にとっては肩身の狭い思いをすることになるのではないのでしょうか。
- ◇外部の指導にあたり学校生活とは接点がないため子どもの性格や方向性をお互いに理解するのに時間が要するのではないのか。
- ◇地域部活動へ移行する事で、今後学校単位ではなくなる。試合も今までの大会がなくなってしまうのか？など心配。参加料や保料の件も、学校以外に負担になるとしたら所属自体考えてしまう。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 平日は決められた時間でしかできないので休日の活動は良いと考えます。
- まだなんとも言えない所ですが地域部活動への背景を考えると良いのではないかと思います。
- 選手や教師の方にとってはメリットがあると思います。
- 各家庭の支援が前提であり、支援ができる家庭とできない家庭による様々な格差が発生することが心配です。
- 休日先生以外の指導者、参加料徴収となると既に「部活動」ではなくなるのでは。

アンケート結果

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

- ・本部活動は、地域の方と学校支援員が同一のため、通常の部活動にかなり近い状況で取り組むことができ、生徒も安心感をもって活動することができました。

2. 指導者との関わりはどうでしたか

- ・常に、生徒の様子や打ち合わせなど、入念にすることができ、不便を感じることはありませんでした。
- ・指導者には、選手に対する指導、生徒の活動に関わる精神的な支えや生活指導をお願いし、私は後方サポート・怪我のケアなどに徹することで役割分担をしています。

3. 休日部活動の成果と課題について

- 【成果】
- ・通常ならば学習支援員は部活動顧問になれないので、立場を変えてでも指導に当たることができたのはよかったと感じている。

- 【課題】
- ・単年度契約でなく、継続的な指導ができる方が存在するのか不安。
 - ・そのための予算の目途が立っているのか、結局日本型教育の献身的な(教員等の)ボランティアに頼るつもりではないのか、相当の不安がある。
 - ・顧問も人間関係を円滑にしたり、技術指導に集中していただくためには週休日も行動を共にしている現実がある。

4. 今回体験した休日の地域部活動について

- 【評価する】
- ・予算の面での確実な目途がつき、全県で一斉に全ての部活動の体制が変えられるのであればその時に教員の負担が減ると思う。
 - ・過渡期の苦しさであれば、教員に手当を厚くし、不満感を減らす中で、移行した方が良い。

- 【評価しない】
- ・中途半端に徐々に変更ならば、従来通り「なし崩し」になると感じている。生徒や保護者から評価されない。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

- 【成果】
- ・兼職兼業での実践のため、学校生活、授業と部活動を関連付け指導を行うことができた。その結果、部活動だけ頑張る生徒ではなく、学業と部活動を両立して学校生活を取り組む生徒の育成ができたと感じる。

- 【課題】
- ・課題に関しては兼業での実践のため、特になし。

2. 運営面や学校との連携について

- ・兼職兼業のため、保護者、生徒、顧問との連携は特に問題はなし。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・部活動の目的や本質が地域に移行された中でも理解されているのか。指導者が教員であるから毎日コミュニケーションが取れ、信頼の構築や生徒理解ができた上での人間性の部分の指導が行える。競技力向上を優先的に目指すのであれば、クラブチーム等の組織で活動すれば良い。勿論強いクラブチームは部活動と同様に、人間力育成が根本にあるが、そうでないクラブや指導者がいるのも現状。地域に下した際に勝利至上主義になり、スポーツだけやっていたら良いという生徒が増える可能性も考えられると感じる。また、運動部に限るが運動が苦手でも体育の授業以外に仲間と運動を楽しむことができる重要な機会。地域活動になり、競技レベルが高くなり、誰もが気軽に入ることができなくなる可能性があると思う。